

共生・公正・創造



ユニオン・EYE

<http://www1a.biglobe.ne.jp/jrtu-EWU>

ジェイアール東日本労働組合
〒108-0014 東京都港区芝5丁目33番36号
TEL(NTT)03-3453-2107 (JR)057-2290
発行者/今井 伸 編集者/平 憲治

JR東日本で働くすべての労働者の皆さんへ！

職場討議資料

JR連合「あるべき労働組合像・労使関係像」

JR連合は2月の中央委員会の民主化方針で、「あるべき労組像・労使関係像」の職場討議資料を提起し、今後、民主化機材として積極活用していくこととしました。この間、JR連合が取り組んできた被害者救済運動の成果により、JR総連運動の異常性が内外に明らかになりつつあります。JR東日本で働くすべての労働者の皆さん、ぜひこの職場討議資料を読んで、労働組合や労使関係のあるべき姿を一緒に考えましょう。JR東日本ユニオンは、このアイデンティティを目指しています。

わが国における労働組合の存在意義
労働組合が果たすべき役割
私たちが求める労使関係
あるべき労働組合・労使関係をJRに築くために

第16回 あるべき労働組合・JR四国労組の取り組み

【「鉄道版交通安全教室」を通じた地域の子供への安全啓発活動】

JR四国労組は、青年・女性組合員が業務中に遭遇した子供の線路内立入による事故を教訓に、事故を「子供が列車にはねられた事故」ではなく「仲間が子供をはねてしまった事故」として捉え、同種の不幸な事故を撲滅するため四国各地の幼稚園などで「鉄道版交通安全教室」を開催しています。子供たちに大人気の「2000系アンパンマン列車」や人形を段ボールで作成するなど、すべてを青年・女性組合員が手作りで準備しています。子供たちは純粋で真剣な眼差しで人形劇を見つめてくれます。また、教室の最後には、踏切の正しい渡り方を全員で体験します。電車の大好きな子供たちが危険な目に遭わないよう、そして「大きくなったら電車の運転士さんになりたい！」と言ってくれる子供たちの夢を守るために、その夢の当事者としてできる活動を、労組の社会的な役割と認識し、今後も継続していく方針です。

